

DNP DISPLAY FILM Type TDC DNP DISPLAY FILM Type TDO

■ 特長・用途

DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOは、レーザープリンタなどで扱うデジタル画像データから高品質な仕上がりのプリントが得られる、デジタル出力専用の過用/透過・反射兼用ディスプレイフィルムです。

このフィルムは、レーザーなどデジタル露光への応答性が高く、DminからDmaxまで、広い度再現性を得られます。特にシャドウ部においては、ディテールの再現力に加えて、締まりのある黒色を得られます。

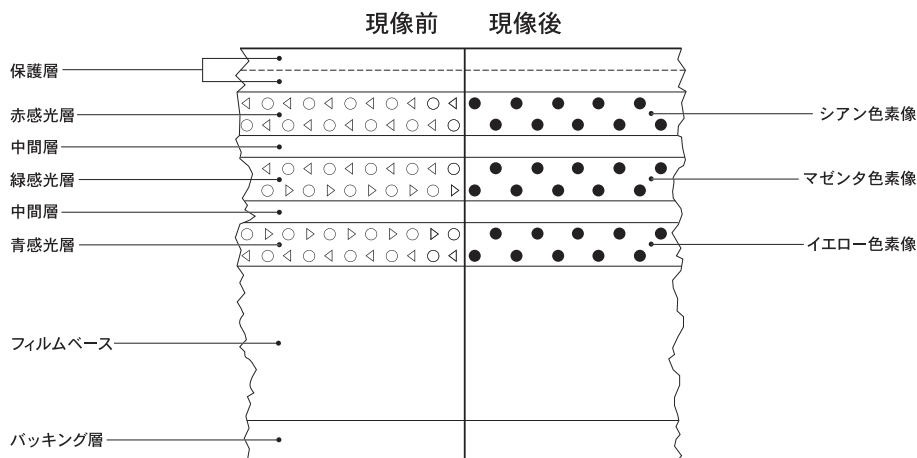
また、抜けの良いハイライト描写とシャープネスの向上により、文字や細線の滲みのないくっきりとしたプリントが得られます。

色再現性においても、幅広い領域において忠実で鮮やかな発色を実現致しました。

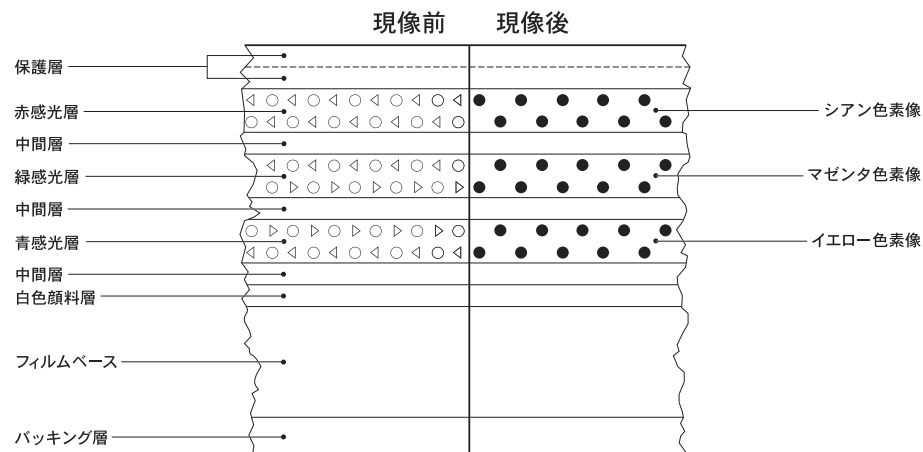
DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOは、このようなデジタル露光での優れた特性を活かし、商業分野の広告・宣伝から写真家の作品展示まで、カラー画像をより高品位に再現するデジタルカラーディスプレイ用として最適なフィルムです。

■ ペーパーの層構成

DNP DISPLAY FILM Type TDC



DNP DISPLAY FILM Type TDO



■フィルムベース ポリエスターベース(ベース厚 180 μ m)

■フィルムサイズ ロール(最大幅 1,270mm \times 30M)
 ※サイズの種類については予告なく変更される可能性があります。

■現像処理

DNP DISPLAY FILM Type TDC、DNP DISPLAY FILM Type TDOはCPD-2シリーズ又はRA-4処理仕様ケミカルを使用して処理できます。

●処理環境による発色現像補

補充量は、自動現像機の種類、処理量、蒸発量、プリントの濃度などによって調整しなければなりません。

このとき、特に発色現像補充量については、オーバーアクションにならないように、一度に変化させるのではなく、少しずつ調節してください。

●処理量による調整

処理量が減少すると、処理液の酸化や蒸発などにより、処理液の組成が変化します。

このときには、補充量を調節し、処理液レベルを安定させなければなりません。

1ヶ月の処理で、タンク容量分以上の補充がされることが目安ですが、コントロールストリップで処理液レベルを確認しながら調節して下さい。

例) タンク容量 : 50L

月間処理量 (m ²)	対標準補充量 (%)
134以上	100
89	150
67	200

●プリント濃度による調整

濃度の高いプリントを多量に処理するときや、濃度の低いプリントを多量に処理するときには、処理液の組成が変化します。

このときには、プリントの濃度に応じて、補充量を調節します。

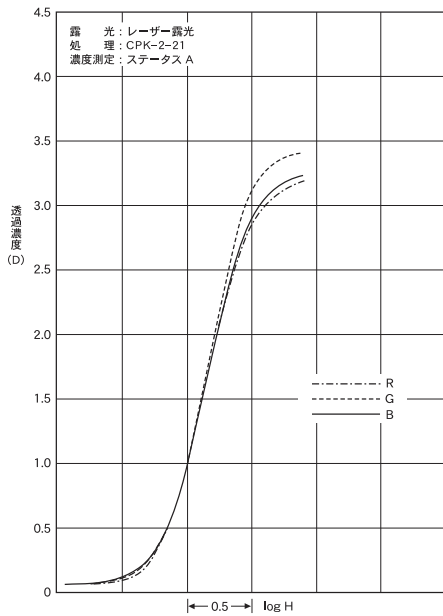
右表を目安に、コントロールストリップで処理液レベルを確認しながら調節してください。

プリント	平均濃度	対標準補充量 (%)
薄い	0.5以下	60
標準	0.5~1.5	100
濃い	1.5~2.0	146
非常に濃い	2.0以上	180

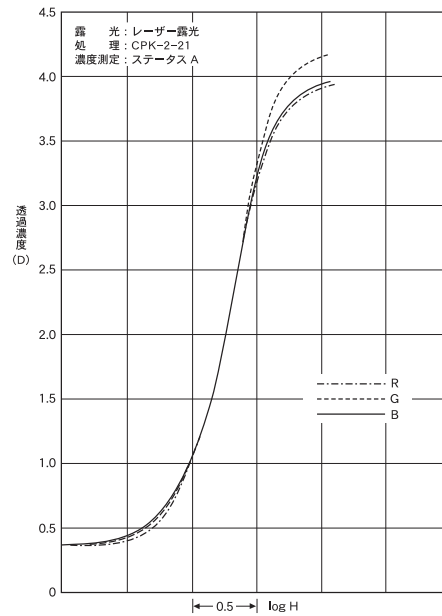
■セーフライト及び暗室光 取り扱いは全暗黒下で行います。セーフライトのご使用はお避けくださ

■特性曲線・分光感度特性

DNP DISPLAY FILM Type TDC
特性曲線

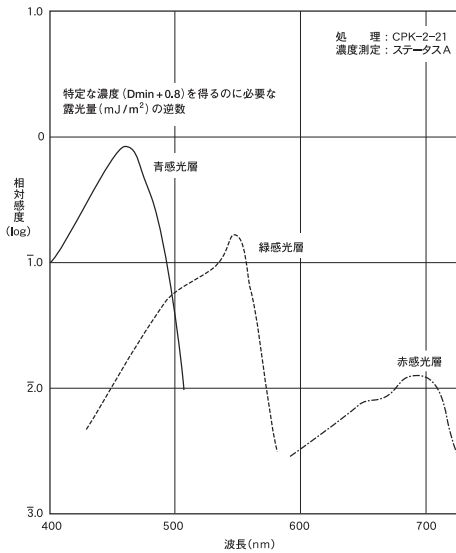


DNP DISPLAY FILM Type TD0
特性曲線



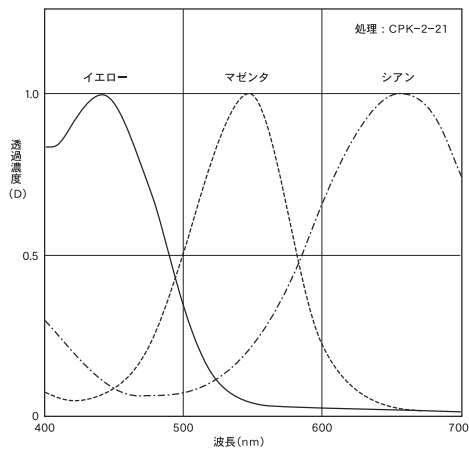
世界最高濃度レベルを達成すると共に、低濃度部から高濃度部にかけてニュートラリティー性の高い優れた階調性を実現しました。

分光感度曲線

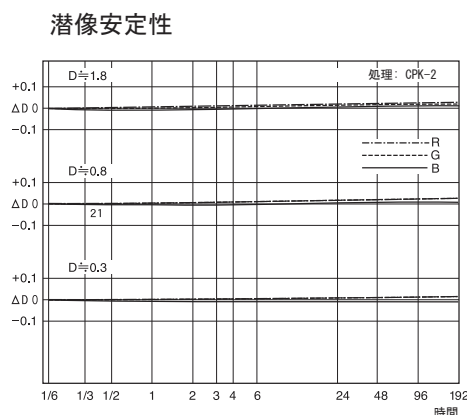
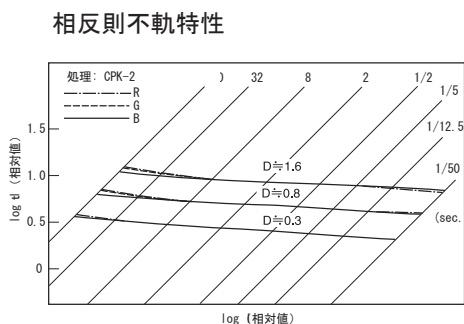


■色素の分光特性

色素の分光濃度曲線

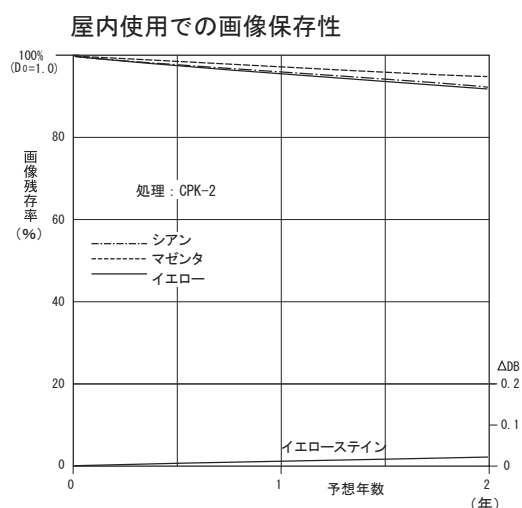


■相反則不軌特性・潜像安定性



■室内ディスプレイ用途での画像保存性

間欠照射(裏面)による予測の明所
 保存性平均光量 5000Lux 10hr/Day
 (90KLux/キセノン光 間欠照射データより算出)



■取り扱い上のご注意

- 1) 未使用のフィルムは封を切らずに冷蔵庫などの低温・低湿(10℃以下)条件下で保存して下さい。
- 2) 冷蔵保存されていたフィルムを取り出してすぐに使用しますと、高温・高湿の条件下では、フィルムの表面に水分の凝縮が生じます。
 また、プリント時のフィルムの湿度によりプリントの濃度・色バランスに影響することがありますので、必ず室温に戻してからご使用ください。また、使用後は10℃以下で冷蔵保存してください。
- 3) 一般的に、フィルムはペーパーに比較してスタチック、スクラッチが発生しやすくなっています。露光時、処理時の取り扱いに充分ご注意ください。

株式会社DNPフォトイメージングジャパン

本社 〒164-0013 東京都中野区弥生町3-35-13

(総合受付ナビダイヤル)

(フリーダイヤル) TEL:0120-37-2010 FAX:03-3299-1201

(本社営業) 【営業統括部】

TEL:03-6702-0780 FAX:03-3299-1203

【営業開発ソリューション部】

TEL:03-6702-0780 FAX:03-3299-1203

【量販営業部】

TEL:03-6702-0785 FAX:03-3299-1203

大阪営業部 〒550-8508 大阪市西区南堀江1-17-28 なんばSSビル5F

TEL:06-6110-4270 FAX:06-6110-4249

札幌オフィス 〒065-0007 札幌市東区北7条東11-1-1 (株)DNP北海道内4F

TEL:011-750-2530 FAX:011-750-2540

東北オフィス 〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-5-1

TEL:022-232-2771 FAX:022-232-2773

名古屋オフィス 〒463-8550 名古屋市守山区瀬古3-201

TEL:052-758-6410 FAX:052-758-6420

中国オフィス 〒732-0825 広島市南区金屋町2-14 アフロディテ8F

TEL:082-568-9050 FAX:082-568-9051

九州オフィス 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル6F

TEL:092-291-5331 FAX:092-291-5332

URL: <http://www.dnpphoto.jp/>

お問い合わせ

いかなる形式でも、本カタログの一部または全部の複製および無断転載をお断りします。内容は2014年9月現在のものです。お断りなしに変更することがあります。

Windows®, Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。Macは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。その他、記載されている商品名、社名などは各社の登録商標または商標です。DNPは大日本印刷株式会社の登録商標です。